

Collegium Musicum Shizuoka

コレギウム・ムジクム静岡 定期演奏会

2014

7月20日(日曜日)

開演14:00 / 開場13:15

会場：静岡音楽館 **AOI**

〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9



ピアノ独奏 入川 舜

指揮：高橋俊之

演奏：コレギウム・ムジクム静岡

■主催：コレギウム・ムジクム静岡

■協賛：アイワ不動産

■後援：静岡市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送

■お問い合わせ：コレギウム・ムジクム静岡 電話：054-347-0164 (藤井)
ホームページ <http://www.portwave.gr.jp/collegium-musicum>



ごあいさつ

コレギウム・ムジクム静岡 代表 才茂 泰司

ご来場の皆様こんにちは。本日はコレギウム・ムジクム静岡の定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。例年7月の梅雨時のコンサート開催となりますが満席になることも稀ではなく、聴衆の皆様支援いただく企業の皆様にも厚くお礼申しあげるとともに私どもの活動が評価されて大変うれしく思っています。

さて本日ご来場の皆様のお目当ては静岡市出身の入川舜さんの、しかもピアノ作品の王者ともいえるショパンのピアノ協奏曲第一番ではないでしょうか。

コレギウム・ムジクム静岡と入川舜さんとは一昨年モーツァルトのピアノ協奏曲で初共演させていただきとても素敵な時間を聴衆の皆様と共有することができました。今回は大作ですから期待がとても高まります。

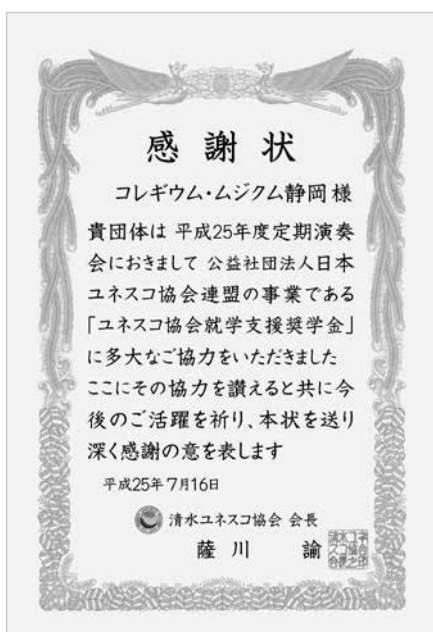
ショパンはポーランド出身ですがフランスで活躍し実際フランス音楽史の中でも重要な位置を占めていますので、パリ留学中の入川舜さんによる演奏はパリでの研鑽の成果と舜さんの個性があいまって魅惑的な演奏をお届けできると思います。

前半の2曲はコレギウム・ムジクム静岡らしく、ちょっとマイナーな選曲ですがイタリアの弦楽合奏曲と若き日のベートーベンの作品の対照的な作品でお楽しみいただけたと思います。

ひとつご報告をさせていただきます。昨年7月のコレギウム・ムジクム静岡定期演奏会では東日本大震災子ども支援募金『ユネスコ協会就学支援奨学金』に139,476円をご来場の皆さまと出演者で寄付することができました。誠にありがとうございました。

今回も同様にロビーに於きましてご来場の皆様募金をお願いしております、どうかよろしく願いいたします。

それではごゆっくりとご鑑賞ください。





プログラム



第 1 部

オットリーノ・レスピーギ作曲 (Ottorino Respighi)

リュートのための古代舞曲とアリア 第3番

Antiche danze ed arie per liuto Suite No. 3

第1曲 Italiana イタリアーナ

第2曲 Arie di corte 宮廷のアリア

第3曲 Siciliana シチリアーナ

第4曲 Passacaglia パッサカリア

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 作曲 (Ludwig van Beethoven)

交響曲第2番 ニ長調 作品36

Symphony No. 2 in D major Op. 36

第1楽章 Adagio molto - Allegro con brio

第2楽章 Larghetto

第3楽章 Scherzo : Allegro

第4楽章 Allegro molto

～*～ 休 憩 ～*～

第 2 部

フレデリック・フランソワ・ショパン作曲 (Frédéric François Chopin)

ピアノ協奏曲 第1番 作品11

Piano Concerto No. 1 Op. 11

第1楽章 Allegro maestoso

第2楽章 Romanze - Larghetto

第3楽章 Rondo - Vivace

ピアノ独奏：入 川 舜

指揮：高橋俊之 演奏：コレギウム・ムジクム静岡

世界の楽器や楽譜をあなたに！音楽のすべてにお応えします

We Sell All About Music

音 楽 舎

The Ongakusha Music Co.Ltd.

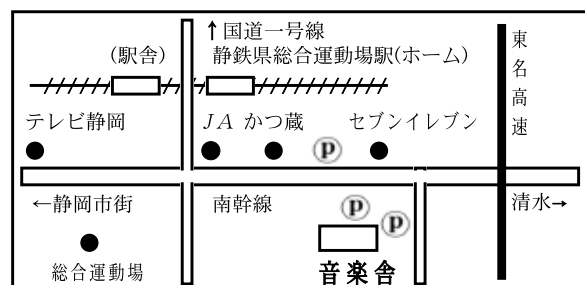
〒422-8004 静岡市駿河区国吉田4-8-6

TEL.054-265-2930 FAX.054-265-2932

URL <http://ongakusha.net/>

E-MAIL info@ongakusha.net

営業時間 AM10:30～PM7:00 日曜・祝日定休



静鉄総合運動場駅より徒歩3分、駐車場18台収容可、パステルグリーンの建物です

入川 舜 (ピアノ独奏)



1986年静岡生まれ。静岡聖光学院卒業後、東京芸術大学を経て同大学院修了。在学中より数多くの演奏会に出演し、ピアノ独奏だけでなく室内楽、伴奏、現代音楽、オペラなど様々な形での発表にかかわる。

2008年第12回松方ホール音楽賞受賞。2010年初のCD「日本のピアノソナタ選」を発表し、文化庁芸術祭参加作品となる。2011年ピアノトリオでの演奏会で、京都青山パロクザール賞受賞。同年デビューリサイタルを開催。2011年より渡仏し、パリ地方音楽院を経て、現在パリ国立高等音楽院のピアノ伴奏科第2課程にて研鑽を積んでいる。

迫昭嘉、A・ジャコブ、J=F・ヌーブルジェの各氏に師事。フランス各地やスイスでリサイタル、室内楽の演奏会に出演。2012年度文化庁海外派遣研修員。

ショパンの協奏曲によせて (入川 舜)

ショパンのピアノ協奏曲第1番は、彼の天才が最高度に発揮された作品だと思います。ピアノの洗練された技法が全編にわたって駆使されていますが、それは決して技巧だけのものにならず、常に豊かな詩情が湧き出ているのです。古今東西の作曲家がこのジャンルに多くの傑作を残してきましたが、これほど「ピアノ協奏曲」という名前にふさわしいものもちょっと見当たらないのではないのでしょうか。ショパンがわずか20歳の時に作曲されたこの協奏曲は、彼のピアノに対する、そして音楽に対する熱い思いがすべて注ぎ込まれ、現在でもその思いは新鮮な感動を呼び起こします。私もこの協奏曲をずっと弾いてみたいと思っておりましたが、この演奏会で、ショパンがこめたその強い思いを少しでも表現することができれば、この上ない喜びです。

高橋 俊之 (指揮者)

1968年生まれ。1979年より桐朋学園大学附属子供のための音楽教室、同高等学校を経て、1991年桐朋学園大学を卒業。同大学研究科、指揮教室を修了。指揮法を黒岩英臣氏をはじめ、飯守泰次郎、秋山和慶氏の各氏に師事。

1991年桐朋学園大学オーケストラの一員として、ニューヨーク・カーネギーホール、仏・エヴィアン音楽祭に出演。1992年スイス・ルガーノでマスター・プレイヤーズ、1993年ウィーン・マイスター、1995年イタリア・オルヴィエートでレスピーギ音楽院の各指揮コースに参加。2009年から、コレギウム・ムジクム静岡の指導にあたる。



世界が認めた シャコンヌ製 新作ヴァイオリン

- ♪大ホールが一番後ろまで豊かに届く音
 - ♪ストラディヴァリ、ガルネリと互角かそれ以上の音量
 - ♪反応が良くて弾きやすいので練習が楽しくなった など
- シャコンヌ製楽器をご使用の皆様から、多くの喜びの声をいただいております。

楽器弦楽器直輸入・修理調整・楽譜・鑑定・楽器保険

株式会社シャコンヌ

CHACONNE
DEALERS OF FINE VIOLINS

<http://www.chaconne.info>

【シャコンヌ名古屋店】

名古屋市中区栄2-11-19 熊田白川ビル3F
☎052-202-1776
0120-485-245(フリーダイヤル)

【シャコンヌ東京吉祥寺店】

武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル904
☎0422-23-1879

※営業時間：10:00~18:30 定休日：日曜・月曜
※毛替えは予約不要です。いつでもお持ち下さい。

プログラム・ノート

オットリーノ・レスピーギ

リュートのための古代舞曲とアリア第3番

オットリーノ・レスピーギ(1879-1936)は、イタリアのボローニャ生まれの作曲家で、特にローマ三部作と呼ばれている管弦楽組曲(ローマの泉、ローマの松、ローマの祭り)が有名ですが、同時にイタリアのルネサンス、バロックの作品に強い関心を持ち、それらを題材とした作品も多く残っていて、中でも『リュートのための古代舞曲とアリア』と題された3つの組曲がよく知られています。ここで登場する『リュート』は楽器の名前です、ギターとマンドリンを合わせて2で割ったような形をしていて指で弾いて演奏します。13~14世紀にヨーロッパ各地に広まり、18世紀頃までのヨーロッパ音楽を形成する土台となった重要な楽器で、音はあまり大きくありませんがメロディーとハーモニーがいかに上品で懐古的な響きをもっています。第3組曲(1931)は弦楽合奏のために書かれ、「リュート」はタイトルにはありますが登場はしません。レスピーギは弦楽法のテクニック駆使し、リュートの為にかかれた15~16世紀頃の作品を現代的なオーケストラに編曲し特に第3組曲は弦楽オーケストラにとって貴重なレパートリーになっています。

第1曲「イタリアーナ」

原曲は作曲者不詳の16世紀末のリュート曲。ヴァイオリンのメロディーを支えるチェロのピチカート伴奏がリュートを思わせます。

第2曲「宮廷のアリア」

原曲は16世紀のフランスの作曲家ベサルル Besardo による複数の作品。冒頭のヴィオラのアリアの後、リズムとテンポを変えた5つの小曲が続き、最後に再びヴィオラのアリアが戻ってきます。

第3曲「シチリアーナ」

原曲は作曲者不詳の16世紀末のリュート曲。美しく印象的なシチリアーナ主題を第1ヴァイオリンが繰り返し、他の楽器が変奏で縁取ります。

第4曲「パッサカリア」

原曲はロンカルリ Roncalli が1692年に出版したパッサカリア。荘重な主題がヴァイオリン、ヴィオラ、チェロと歌い継がれ、中間部のテンポ変化を経て、終曲にふさわしいダイナミックなフィナーレに向かいます。

(鈴木誠一)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

交響曲第2番

ヴィオラ奏者の私にとって、ベートーヴェンの交響曲はとて魅力的でやりがいのある曲です。ヴィオラはバイオリンよりも低い音で、オーケストラでは全体の色をつけるのが中心の脇役的なパートですが、パート譜はヴィオラの特徴をとて活かして作曲されていると思うからです。

ベートーヴェンの交響曲は、明快で美しい旋律、その旋律が次々と予想を超えて展開していく面白さ、効果的なスフォルツァンド(ところどころで突然強い音が鳴ります)、あのベートーヴェンの気難しい顔に似合わない茶目っ気たっぷりなところ、など音楽の楽しいところが全て備わっているような気がします。

今日演奏する交響曲第2番は、明るく、希望を感じさせる曲です。ベートーヴェンらしさが随所に溢れています。ベートーヴェンのなかでも名曲のひとつだと思います。

“え！世間では、英雄(第3番)、運命(第5番)、田園(第6番)、第九(第9番)などの交響曲の方が名曲と言われているではないか。そもそも第2番なんて聴いたこともない！”とおっしゃるのはもっともです。

タイトルがない、ことがポピュラーな曲にならなかった原因のひとつでしょう。若いときに作曲した曲、というのもそうでしょう。でも聴いて頂くと、きっと好きになって頂けるのではないかと思います。

この曲は、実はベートーヴェンにとって絶望の底であった時期に作曲されました。音楽家としては致命的である耳の病気が悪化したために、ウィーン郊外のハイリゲンシュタットという所で静養していましたが、一向に良ならず、ついに遺書まで書いたのです。32歳のときでした。

しかし人は崖っぷちに立ったとき、真に解決を求めようとすると、逆に大きな力を得ます。今まで気がつかなかったことに気づき、正しい道を歩むことが出来るようになります。ベートーヴェンは大きな悩みのすえ、作曲家として生きることが自分の使命と悟り、そして思い直してこの第2番を書きました。ですから、第1楽章の冒頭は自身の悩みを表現し、暗闇の世界を感じさせますが、その後はずっと希望と躍動に満ち満ちた内容となっています。

このような作曲時期の背景を知ったとき、演奏する私達も真摯に向かう必要があります。演奏できる喜

びとともに、不偏の希望を皆様に表現できればいいと思っています。(飯田 晃司)

フレデリック・フランソワ・ショパン

ピアノ協奏曲第1番

♪ ショパンのピアノ協奏曲

ショパンはピアノ協奏曲を2曲作曲しました。最初に作曲したヘ短調(作品21 1829年に作曲、1836年に出版)は一時総譜が行方不明となり、実際には2番目に作曲されたホ短調(作品11 1830年に作曲、1833年に出版)が先に出版されました。2曲とも故国ポーランドにいる時の創作で、後年の円熟期の作品にみられる内容の深さ、作曲技巧の変化や完璧性に乏しく、管弦楽法においてはあまりにも貧弱であるというのが一般定評ですが、20歳そこそこの青年の創作と考えれば、それがいかに素晴らしい才能に輝いているか驚くべきものだと言えます。さらに、この2つの協奏曲の中には、ショパンがその生涯に生み出した様々な作品の因子が集約されていると言っても過言ではありません。

♪ 協奏曲第1番

ロマンティックな旋律、和声の融合が魅力的な2番と比べ、ショパンの故郷ワルシャワへの告別の意味が込められている1番は、構成が重視され、演奏技巧が非常に難しい大曲です。初演は1830年10月11日、ショパン自身がソロを演奏し、パリのピアニスト、カルクブレンナーに献呈されています。

第1楽章 ホ短調 3/4拍子

オーケストラの長大な序奏で始まりますが、この序奏には、ショパンが学んできた作曲技法の確かさをみることが出来ます。曲頭のオーケストラの第一主題は合奏で、第二主題はホ長調に転調し、カンタービレの美しいメロディーを奏で、これが何度も繰り返された

後、ピアノが待ちかまえていたかの様に強烈な和音を奏でます。その後すぐ情感豊かな、かつピアニスティックなパッセージが2回繰り返されます。この最初のソロが曲全体の性格を見事に表していると言えます。

展開部は、ハ長調でピアノが始まり、重音、スケール、アルペジオをもって多くの転調を経ながら華やかに展開された後、急速に下降するピアノの半音階が主題の再現に導きます。

再現部は、オーケストラが冒頭主題を、後半をピアノが担当し、ト長調へと移り、華麗な技巧を駆使したピアノによるアジタートの部分を経て、オーケストラのコーダで楽章が終わります。

第2楽章 ホ長調 4/4拍子 ロマン

ノクターン風の性格を持つ優雅な曲。弦合奏の模倣風の導入の後にピアノによって主題が現れます。主題は重音や装飾技巧で飾られ、変奏曲の形式でその複雑さを増して行きます。その後短調の第二主題の技巧的な展開へと続き、最後は弦合奏が奏でる主題を、引き続きピアノの半音階と分散和音の即興的なパッセージが奏で、楽章を終えます。

第3楽章 ホ長調 2/4拍子 ロンド

このロンドは「クラコヴィアク」という軽快で陽気なポーランドの民族舞踊が用いられています。オーケストラの短い導入の後、ピアノによる躍動的な主題が提示されます。オーケストラが、このピアノの主題を一度も演奏することがないことも特徴です。また楽章中に現れるユニゾンの主題は、楽章全体の民族舞踊的な性格を高め、その響きが第二主題としての機能を果たしています。後半への接続部分は印象的で創意工夫にあふれており、一瞬にして主題へ復帰して完全な主題再現となり、技巧的なパッセージからコーダへ突入します。そしてコーダは音階を分散和音が目まぐるしく駆け巡り、華麗に締めくくられます。(青木みすえ)



地域に根ざした
コミュニティカフェを
目指して、
お客様に
癒しの時間を
ご提供します。

タリーズコーヒー

静岡県立総合病院店

静岡県静岡市葵区北安東4-27-1

静岡紺屋町店

静岡県静岡市葵区北安東4-27-1

エスパルスドリームプラザ店

静岡県静岡市清水区入船町13-15

清水エスパルスドリームプラザ内1F

www.tullys.co.jp



たくさんのもを奪った震災でも、
子どもたちの未来は奪えない。

東日本大震災 子ども支援募金 ユネスコ協会就学支援 奨学金

被災地の子どもたちが経済的な理由で進学や夢をあきらめることなく学業を続けていけるよう、「ユネスコ協会就学支援奨学金」へのご協力をよろしくお願ひいたします。

子どもたちの明日を、皆さまの力で支えてください。



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

コレギウム・ムジクム静岡メンバー



ヴァイオリン	才茂 泰司 深澤 文 才茂奈生子	江成 博行 平本小都実 江成 淳美	大内 裕子 鈴木 洋美	菅野 美穂 望月 勉	大内 潤 原田 吉郎
ヴィオラ	飯田 晃司	杉山有紀子	井出 尚子	今田 幹子	
チェロ	鈴木 誠一	細谷 裕和	寺澤 真紀	高林 元博	
コントラバス	藤井 弘之	坂口 卓也			
フルート	西貝 詳子	石野 智子			
オーボエ	大橋 且明	小田 紀子			
クラリネット	鈴木 教代	望月 好美			
ファゴット	伏見 寛之	森本 純一			
トランペット	杉山 雅行	深見 康英			
トロンボーン	稲葉 滋広				
ホルン	鈴木 英方	山本 輝人	小黑 和枝	小黑 迪明	
パーカッション	西貝 誠一				
鍵盤楽器	青木みすえ				

コレギウム・ムジクム静岡は、1995年に静岡県在住のアマチュア音楽家によって結成された室内管弦楽団で、宗教音楽から現代作曲家の作品までをレパートリーとし、静岡市を中心に様々な演奏活動を続けて来ました。2009年8月に実施した2度目の欧州演奏旅行は、オーストリア外務省・日本外務省及び両国大使館が企画・実施している『日本オーストリア交流年2009』の認定事業として登録されました。

2010年からは指導者に高橋俊之氏を迎え、より一層活動の幅を広げています。

コレギウム・ムジクム静岡 今後の演奏会予定

◆2014年8月31日(日) ふれあいコンサート (主催：一般社団法人静岡市老人クラブ連合会清水区支部)

サンサーンス：動物の謝肉祭 他 会場：清水テルサ ホール

◆2014年11月19日(水) アイワ不動産東日本復興応援チャリティコンサート (主催：アイワ不動産)

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 他 会場：静岡音楽館 AOI 8階ホール

出演：ヴァイオリン 長尾 春花 / 二胡：鈴木 裕子

◆2014年12月24日(水) 静岡教会クリスマス礼拝 (主催：静岡教会)

ヘンデル：メサイアから 会場：静岡教会

テレビ
CM
放送中!



♪
歌うように暮らしたい。
♪

アイワ不動産チャリティコンサート Smile! Smile!! Smile!!! vol.2 開催決定

コレギウム・ムジクム静岡 指揮/高橋俊之 ヴァイオリン/長尾春花 二胡/鈴木裕子
2014年11月19日(水)

■会場/静岡音楽館AOi 8階ホール ■開場/18:00 ■開演/18:30 ■チャリティ入場料/3000円
お問合せ/アイワ不動産チャリティコンサート実行委員会 TEL/054-253-3911

イメージキャラクター 鈴木裕子

イメージキャラクター 長尾春花

A棟
メゾン・ヴァンペール東静岡
(平成26年9月完成 / 全49戸)

B棟
バルシティ
(平成22年完成 / 全12戸)

バルシティコート
(平成22年完成 / 全52戸)

キララシティコート
(平成18年完成 / 全77戸)
(社)全国住宅建設業協会連合会
優良団地賞受賞

デュオ万世町
(平成17年完成 / 全26戸)

メゾン・ヴァンペール音羽の杜
(平成16年完成 / 全36戸)

アコルデ駿府
(平成16年完成 / 全25戸)

ヴィラ マリソール焼津
(平成13年完成 / 全31戸)

あなたは心のなかに、じぶんの地図をもっています。
そこは住みなれた街がひろがり、
かけがえのない家族がいて
今日までの人生が記されています。
その地図に、
マンションライフという夢を描いていただくこと。
時代が変わっても色褪せない、
価値ある生活空間をお届けすること。
これが私たちの願いです。
あなたの地図のまんなかをめざして。
私たちはこれからも、ここ静岡県を舞台に、
住まいづくり、街づくりに取り組んでまいります。

メゾン・ヴァンペールは、
アイワ不動産の分譲マンションシリーズです。

メゾン・ヴァンペール鷹匠
(平成7年完成 / 全27戸)

メゾン・ヴァンペール中田
(平成8年完成 / 全28戸)

メゾン・ヴァンペール安東
(平成8年完成 / 全12戸)

A棟
メゾン・ヴァンペール常磐町
(平成9年完成 / 全14戸)

B棟
メゾン・ヴァンペール広沢
(平成9年完成 / 全42戸)

メゾン・ヴァンペール用宗
(平成10年完成 / 全28戸)

メゾン・ヴァンペール静岡
(平成10年完成 / 全45戸)
平成10年度住宅金融公庫
優秀賞受賞

メゾン・ヴァンペール江尻台
(平成13年完成 / 全26戸)

メゾン・ヴァンペール大岩
(平成12年完成 / 全18戸)

メゾン・ヴァンペール音羽町
(平成11年完成 / 全12戸)

アコルデ両替町
(平成10年完成 / 全36戸)

株式会社 アイワ不動産

[本社] 静岡市葵区常磐町1丁目8番地の6 <http://www.aiwasan.com> アイワ不動産 検索
 売買開発事業部 / 賃貸事業部 (アバマンション・賃貸管理部) / 清水支店 / 藤枝支店
 ●アイワマネジメント株式会社 ●アイワホームサービス株式会社 ●愛和管財株式会社 ●株式会社ヘヤシュ